

令和8年度 予算決定

令和8年度は、まちづくりの指針となる第3次総合計画の初年度となります。
未来を見据え、中長期的な視点に立ち、より良い市民サービスを提供できるよう計画に基づいたさまざまな施策に取り組んでいきます。

予算総額 365億3,845万円(前年度比+0.7%)

- **一般会計** : 235億円(前年度比-1.6%)
福祉や教育、公園や道路の整備など、行政運営にかかる基本的な経費
- **特別会計** : 86億6,864万円(前年度比+2.0%)
国民健康保険、介護保険など特定の収入をもって運営される事業の経費
- **水道事業会計** : 23億6,960万円(前年度比+27.9%)
- **下水道事業会計** : 20億21万円(前年度比-3.2%)

令和8年度の主な新規・拡充事業

子育て・教育分野 ~少子化対策や子育て家庭への経済的負担軽減に向けて~

- 旧南小学童保育センターを改修し児童センターを整備 (1億3,041万円)
- 放課後児童クラブを利用する第2子以降の児童の利用料を減免 (1,131万円)
- 市内の小学校および中学校の給食費無償化 (2億4,140万円)

産業・地域資源分野 ~地域経済の発展に向けて~

- 新規産業団地造成に向けた開発地区界測量を実施 (2,501万円)
- 農産物の販路拡大支援としてECサイト開設経費などの補助、生分解性マルチ等購入経費の補助 (4,206万円)
- 企業版ふるさと納税を財源として活用し、栃木SCの練習場や周辺環境の整備を実施 (4億870万円)

環境・安全分野 ~安心安全な生活の確保に向けて~

- 防災ハザードマップの更新、防災情報支援システムへダム放流による河川水位予測機能を追加 (896万円)

福祉・健康分野 ~ウェルネス(健康で幸せ)な生活に向けて~

- さくら健康アプリの対象年齢を拡大 (19歳以上→16歳以上)、市内の温泉施設に血圧計や体組成計等を設置 (1,675万円)

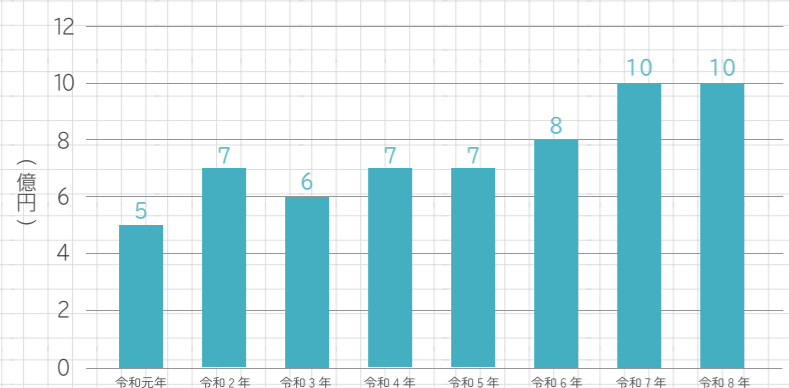
都市基盤分野 ~さらなる魅力向上に向けて~

- 氏家駅東地区の魅力向上に向け、第1期整備計画区域の事業化計画を検討 (3,755万円)
- 空き家等情報バンクに登録した空き家のリフォームや解体費用に対する補助額を拡充 (563万円)

持続可能な財政基盤を確立するために ~財政調整基金について~

毎年度予算編成時においては、市の預貯金にあたる財政調整基金を取り崩すことで財源不足を補てんしています。下のグラフは、取崩額(補てん額)の推移を示しており、予算規模の増加などの影響により右肩上がりとなっています。財政調整基金は、主に教育および福祉にかかる経費に使われていますが、災害や不測の事態に備え残高を保つことも必要です。持続可能な財政運営を行うため、過度な取り崩しとならないよう、歳入の確保と効率的な事業の執行に努めていきます。

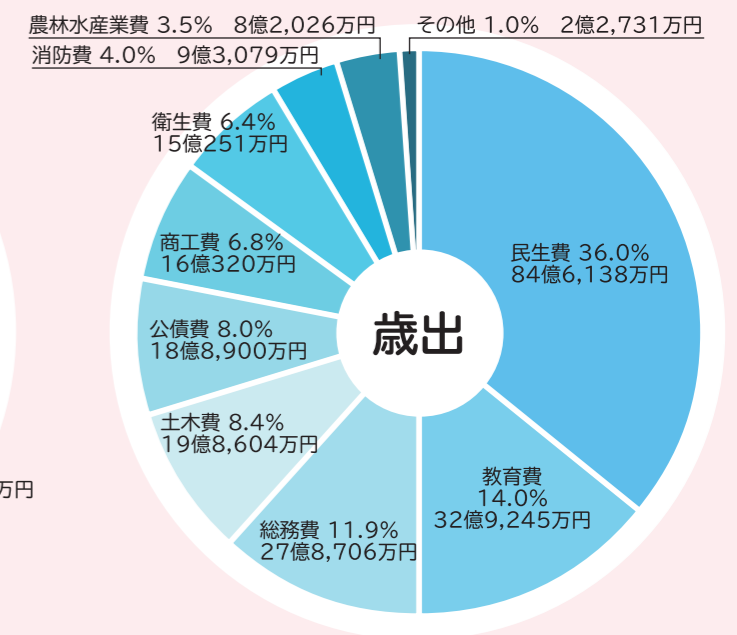
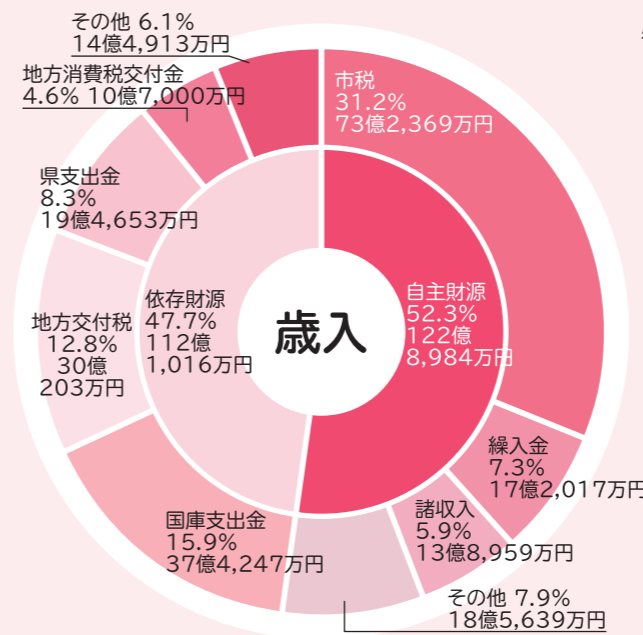
取崩額の推移



詳細はこちら▲

問合せ | 財政課 (☎ 681-1122)

一般会計の内訳



※端数処理により、計が合わない場合があります

用語解説

歳入

- 自主財源**：市税や緑入金などが独自に調達できるもの
- 依存財源**：地方交付税や国庫支出金など、国や県から交付されるもの
- 市税**：皆さんに納めてもらう市民税・固定資産税など
- 地方交付税**：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金
- 緑入金**：基金会計など他会計から移されるお金
- 国庫支出金・県支出金**：社会保障や教育、公共事業など、国や県が使い道を決めて市に交付するお金
- 市債**：市が事業を行うために借り入れるお金

歳出

- 民生費**：高齢者や障がい者、児童などの福祉全般にかかる経費
- 教育費**：幼稚園や小・中学校、公民館、図書館など教育全般にかかる経費
- 総務費**：市役所の全般的な事務にかかる経費
- 土木費**：道路、公園、市営住宅などの整備・管理にかかる経費
- 公債費**：市が事業を行うために借り入れたお金の返済にかかる経費
- 衛生費**：予防接種や健康診査、ごみ処理などにかかる経費
- 商工費**：商工業の振興、観光事業などにかかる経費※融資預託金(中小企業が低利で融資を受けるために市が金融機関に資金を預託するもので、年度末に全額諸収入として回収される)の約11億9,300万円を含む。
- 消防費**：消防活動、消防施設の整備などにかかる経費
- 農林水産業費**：農業や林業、畜産業などの振興にかかる経費